

目的：区内の地域福祉に関連する市民・団体・施設等の関係者が集い、具体的な課題解決の検討・実験プロジェクトの実施を通じて、官民協働による地域福祉の向上に資する基盤づくりを行う。

内容：区内の市民・団体・施設等の関係者を対象に、「みんなが先生、みんなが生徒」という『めだかの学校』精神で、地域福祉の具体的な課題解決に向けた検討会・実験プロジェクトを展開し、それを共有する場を設ける。

【平成26年度事業の概要】

1. 配食サービスガイドブックのリニューアル

- 平成22年度に作成した「配食サービスガイドブック」をリニューアルする。
- 実行委員会を組織し、以下のプロセスで実施。
 - ①事務局側での概況調査（区内へのサービスを展開する事業者の実態把握）
 - ②試食会&意見交換会の開催
 - 区内でサービスを展開する配食サービス事業者の協力を募り、各事業者が提供する弁当等の試食・PR及び意見交換を実施。
 - 区内3カ所（各地域包括支援センターのエリア：亀田、大江山・横越、曾野木・両川）で開催。
 - ③冊子の作成
- 冊子完成後、地域内の関係者に配布。

3. 福祉のネットワークづくり交流会の開催（1回）

- 特色ある区づくり事業として取り組んだ6年間の総括し、今後の地域福祉の取り組みについて情報・意見交換を行う。

4. まなびやニュースの発行（3回）

- 福祉の学び舎事業の取り組みを周知するための広報紙を発行する。
（広報紙の仕様案）A4版／両面／白黒／500部

5. 報告書の作成

- 26年度事業の報告だけでなく、過去6年間の総括的な内容も含んだものとする。